

(様式2)

学校関係者評価報告書

(愛媛県立新居浜商業高等学校)

学校番号 (8)

評価実施日		令和 6年 2月 14日 (木)	
委員	氏名	所属等	備考
	藤原 正治	新居浜市立船木中学校長	
	日野 彰	地元企業代表	
	吹上 忠	地域代表	
	真鍋 智明	学校評議員 (泉川公民館長)	
	西原 審	学校評議員 (泉川保育園長)	
	沖村 祐樹	保護者代表 P T A会長	
	加地 千草	P T A顧問	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・出欠統計について、具体的目標にある「1か年皆勤者数100名以上」を達成できなかった。・生徒異動について、昨年度に比べて、転退学者が減少した。生徒を取り巻く環境は複雑だが、個々に対応できる指導体制をさらに模索したい。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">・特別指導について14件(27名)の特別指導を行った。問題行動による特別指導を行った人数は減少したが、3年生の指導件数が増加したことが心配である。特別指導を罰ではなく、学校や社会生活への対応指導と捉えて粘り強く指導していきたい。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">・就職状況について、本校への求人数は増加傾向にある。今年度は学校斡旋を希望する生徒全員が内定をいただいた。本人保護者とも地元での就職希望が多く、地元を支える人材を輩出する学校として、今後も地域企業との連携を大切にしていきたい。・進学状況については、今年度、久しぶりの国公立大学合格者が出た。また、進学希望者全員が合格をいただいた。本校は推薦制度を活用し、総合選抜型入試と学校推薦型入試での合格者の割合が高い。今後とも、全教職員で進路実現をサポートしていきたい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍以前の形に戻した運動会や新商祭は大盛況であった。ただ、ルールやマナー違反に対する指導の徹底を痛感した。・部活動の活動状況を見るに、生徒数の減少を受け、部員数も減少している。チームスポーツでの部員の確保について、今後も対策を講じたい。部活動での思い出は、その生徒にとって一生の宝物になる。しっかりと考えてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・皆勤者70名以下という現実が残念だ。社会に出ることを見据えて、遅刻欠席をなくす心がけを今以上に喚起する。・入学時の目標を見失うことなく、学校生活を安心して送れるよう、今後も指導に努める。・その時々の子どもの特性に応じて、保護者の協力も得ながら、問題行動を起させないような指導を粘り強く続ける。・本年度も長期休業中の進路補習において、面接だけでなく小論文やSPI対策など生徒の希望に応じた講座を開講した。卒業生や企業の人事担当者の協力も得ながら、社会が求める人材の育成に努める。・就職もそうだが、進学した生徒がその後どうなっているか追跡調査を行うことで、より進路指導が充実すると考える。先輩の様子や現状をできる範囲で生徒に情報発信することで、進路先とのミスマッチ対策につなげる。・制限がない状態での学校行事を、生徒たちは生き生きと活動していた。ルールやマナーに対する指導を今後も機会をとらえて指導を重ねていく。・部活動の精選については、県教委の指導もあり、現在原案を作成している最中である。本校の特色や伝統を考えながら取り組んでいく。

(5) 通級による指導

・通常の教育課程に加える形で、自立活動の指導を7限目を実施している。現在は10名が希望により参加している。

(6) 商業科の取組(状況報告)

- ・大会・コンテストについて
- ・三種以上1級合格者表彰(全9種目)について
- ・高度資格試験合格プログラムについて
- ・ツアープランニングプログラムについて
- ・商品開発プログラムについて

2 学校運営への提言

(1) 家庭学習時間の少なさが見えるが、これは高校だけではなく、小中学校も含めて社会全体の問題でもある。学校の雰囲気は以前に比べて格段に良くなっていると感じている。

(2) 地域のボランティア活動に参加した生徒が本当によく頑張ってくれた。今後もボランティア活動への呼びかけを継続して、よりたくさんの生徒に参加してほしい。以前のように泉川公民館や児童館にも出かけてきてほしい。

(3) なかなか教員や親の言うことを聞かない生徒が増えている。年の近い先輩や社会人からの注意や教えの方が生徒の心に入りやすい。そのような機会を学校で作っていくのはどうか。

・本人の特性や困り感に寄り添い、これまでと同様に丁寧な指導を心掛ける。また、保護者や指導に悩みを抱える教員からの相談にも対応することで、丁寧な支援につなげていく。

・新居浜市立商業高等学校として、創立されて以来、地域産業の活性化に貢献できる生徒の育成に取り組んできた。昨年度に引き続き、内閣府主催の地域創生☆政策アイデアコンテストでは、3年連続優良賞を受賞することができた。今後も地域の課題解決に取り組む。

・御教示いただいた「力は二流でも気持ちは一流」という言葉を胸に、真面目に取り組む生徒の育成に努める。

・地域のイベントやボランティアに対しても積極的に情報発信をしていきたい。生徒達も褒められたり感謝されたりすることで、自己肯定感が増す良い機会となる。本当にありがたい。

・インターンシップ事業の前にマナーや電話のかけ方に関する講座を企画したり、先輩による講演を実施したりする等、様々な立場の方からの教えの場を設けるよう工夫をしている。今後も継続・拡大したい。